

第 31 回定時株主総会における質疑応答（要旨）

2023 年 6 月 28 日に開催された当社の第 31 回定時株主総会において、出席いただいた株主の皆さまからお受けした質問及び事前質問への回答について、下記の通り開示いたします。なお、この質疑・応答集は、株主の皆さまから頂戴したご質問やご意見と、経営陣からの回答、説明をまとめたものであり、理解促進のために一部内容の加除修正を行っております。

【質問】（配当金にかかる税金計算において）配当がでているのに損失とはどういうことか。

【当社回答】

今回の配当はその他資本剰余金を原資として行いましたが、その他資本剰余金を原資とする配当は、一般的な利益剰余金を原資とする配当と異なり、「資本の払戻し」としての取り扱いとなります。この場合、税金計算上の配当所得ではなく源泉徴収の対象とならない一方、みなし譲渡損益として税金計算する必要がある等、税務上の取り扱いが一般的なものと異なります。

「資本の払戻し」としての配当は財務諸表の簿価を基準にすることから、一般的に時価が簿価を上回っている場合にはみなし譲渡損失となり、今回の配当に伴う所得税はかからないケースが考えられます。

ただし、税務上の具体的な内容や手続等については、証券会社や税理士、税務署等にお問合せいただければと存じます。

【質問】今回の決算は赤字になっているが、当社が成長して利益を生むことができるようになる見通しを伺いたい。また、赤字決算について経営陣はどう考えているか。

【当社回答】

当社は中期的に大きな目標に向かって事業の基盤を作っていく戦略を立てており、そのために必要な戦略投資を続けております。とくに PrimeAd においては、利益が出るにはある程度の規模が必要ということもあり、現在は規模を拡大しているところです。

投資効果については、中間指標をとりながら、適宜事業報告として株主の皆様にご報告いたしますが、以上のような戦略のもとで、意思をもって資金を使っているという部分があります。

一方で、本業の粗利率等については課題があったと認識しております。この点については、各取締役の評価に反映しております。

【質問】今回の取締役選任議案に女性が含まれていないが、世界的なダイバーシティの機運が高まっている中、当社では女性役員の登用についてどのように考えているか。

【当社回答】

現状の役員には女性が含まれませんが、社員全体で 51%、管理職で 27%程の女性比率となっています。当社としては性別に関係なく、職務や目標との関係で適任であると考えられる者を配置することを基本としておりますが、当社の顧客として女性が多いという側面もありますので、今後ますますの女性社員の活躍が予想されます。

【質問】社外取締役は、どのように当社経営に寄与していくのか。

【当社回答】

各社外取締役は、毎月の取締役会に参加し、異なる立場から、自身のもつ経験・知見に基づき、当社経営に関する助言を行っております。例えば、武田取締役は完全に独立した立場から、伊藤取締役は資本業務提携先の株式会社 NTT ドコモにも所属しているという立場から、それぞれ当社事業拡大のための助言をいただいております。なお、各社外取締役の役割については、コーポレートガバナンス報告書においてスキル・マトリックスでもお示ししておりますとおり、相互に補完する形になっております。

以上

株式会社オールアバウト

🖥️ 企業サイト <https://corp.allabout.co.jp>

🖥️ IR 情報 <https://corp.allabout.co.jp/ir/>

📺 2023 年 3 月期決算説明動画は[こちら](#)

📄 2023 年 3 月期決算説明の書き起こしは[こちら](#)

📺 第 31 回定時株主総会のアーカイブ配信は[こちら](#) (2023 年 8 月 1 日午後 5 時まで)

📄 第 31 回定時株主招集通知は[こちら](#)

IR 情報▶

